



目次

絵1	1
絵2	2
絵3	4
絵4	5
絵5	6
絵6	7
絵7	9
絵8	10
後書き	11

絵 1

プロンプト：

(油彩画) (シュールレアリスム) 「鉛筆ママとエンピツ君」私は鉛筆ママです。私の息子がエンピツ君です。彼は将来、有名な作家になりたいと言っています。鉛筆ママの私は彼の夢を応援しています。でも、彼には秘密があります。彼は実は魔法の鉛筆なんです。彼が書いたものはすべて現実になるのです。彼はこの力を悪用しないで、人々を助けるために使っています。例えば、彼は友達の病気を治したり、先生の悩みを解決したり、世界平和を願ったりしています。私は鉛筆ママとして、彼が幸せであればそれでいいと思っています。でも、私も心配しています。彼が自分の力をコントロールできるかどうか、彼が危険に巻き込まれないかどうか、彼が本当に望むものがわかっているかどうか...

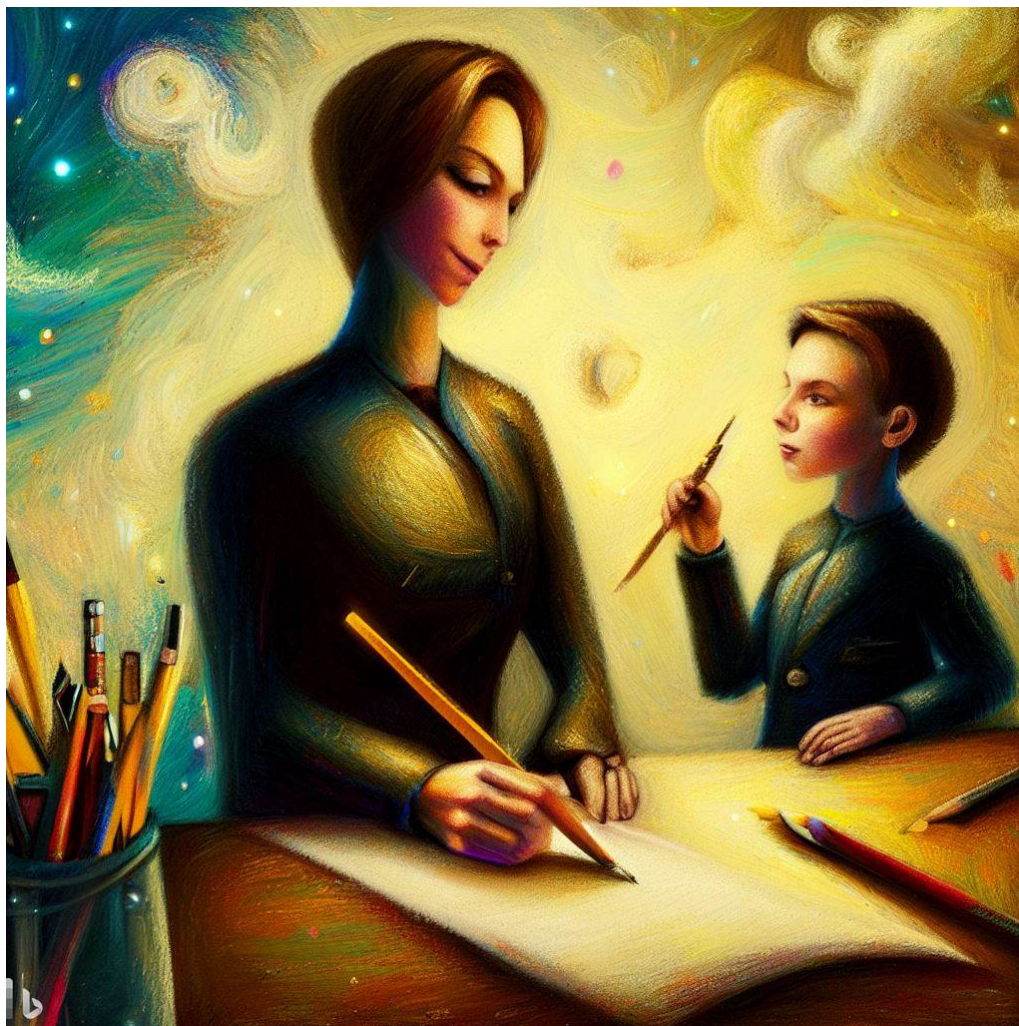


絵 2

プロンプト：

(油彩画) (シュールレアリスム) 「鉛筆ママとエンピツ君」私は鉛筆ママです。私の息子がエンピツ君です。彼は将来、有名な作家になりたいと言っています。鉛筆ママの私は彼の夢を応援しています。でも、彼には秘密があります。彼は実は魔法の鉛筆なんです。彼

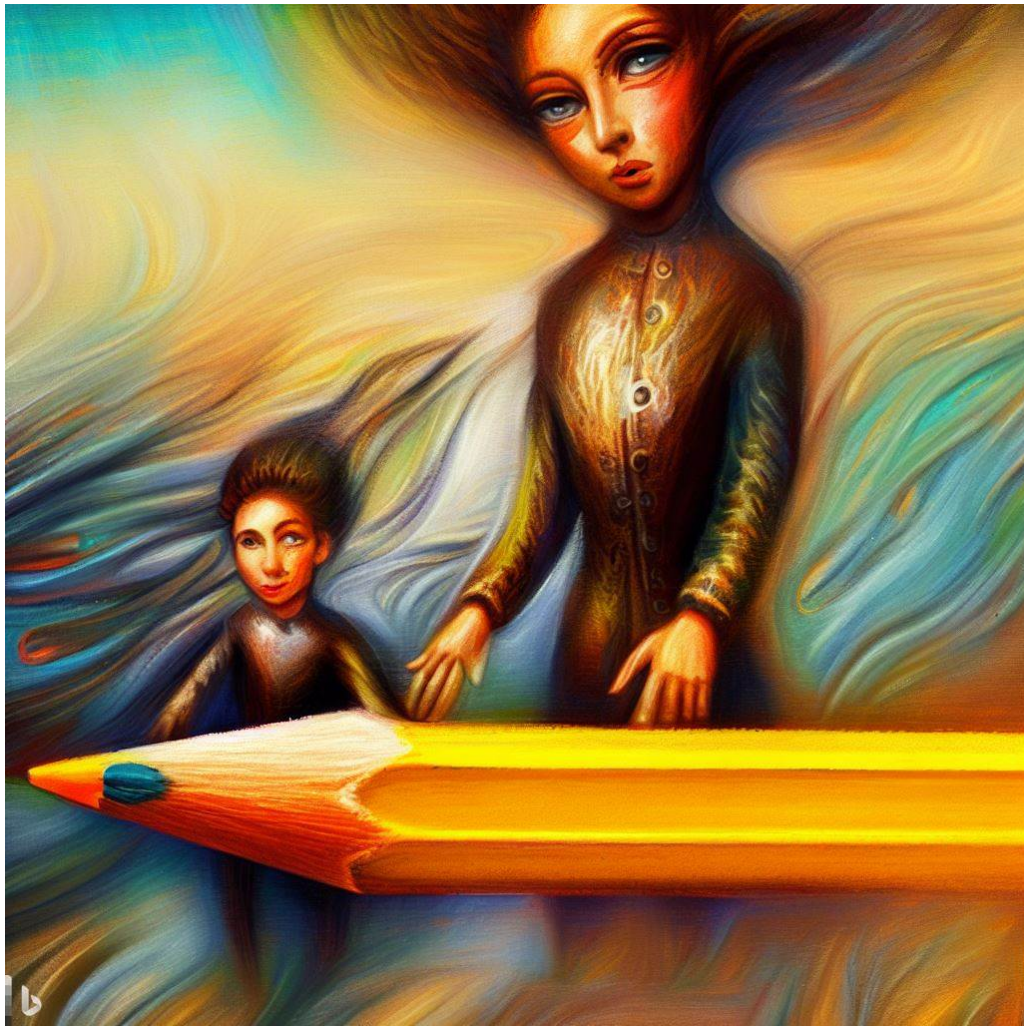
が書いたものはすべて現実になるのです。彼はこの力を悪用しないで、人々を助けるために使っています。例えば、彼は友達の病気を治したり、先生の悩みを解決したり、世界平和を願ったりしています。私は鉛筆ママとして、彼が幸せであればそれでいいと思っています。でも、私も心配しています。彼が自分の力をコントロールできるかどうか、彼が危険に巻き込まれないかどうか、彼が本当に望むものがわかっているかどうか...



絵 3

プロンプト：

(油彩画) (シュールレアリスム) 「鉛筆ママとエンピツ君」 私は鉛筆ママです。私の息子がエンピツ君です。彼は将来、有名な作家になりたいと言っています。鉛筆ママの私は彼の夢を応援しています。でも、彼には秘密があります。彼は実は魔法の鉛筆なんです。彼が書いたものはすべて現実になるのです。彼はこの力を悪用しないで、人々を助けるために使っています。例えば、彼は友達の病気を治したり、先生の悩みを解決したり、世界平和を願ったりしています。私は鉛筆ママとして、彼が幸せであればそれでいいと思っています。でも、私も心配しています。彼が自分の力をコントロールできるかどうか、彼が危険に巻き込まれないかどうか、彼が本当に望むものがわかっているかどうか...



絵 4

プロンプト：

(Metal carving) A hybrid of a flog and a robot. The hybrid is using a pencil and writing a letter on a wooden desk of an old room with an antique lamp.



絵 5

プロンプト：

(Metal carving) A hybrid of a frog and a robot. The hybrid is using a pencil and writing a letter on a wooden desk of an old room with an antique lamp.



絵 6

プロンプト：

(Metal carving) A hybrid of a frog and a robot. The hybrid is using a pencil and writing a letter on a wooden desk of an old room with an antique lamp.



絵 7

プロンプト：

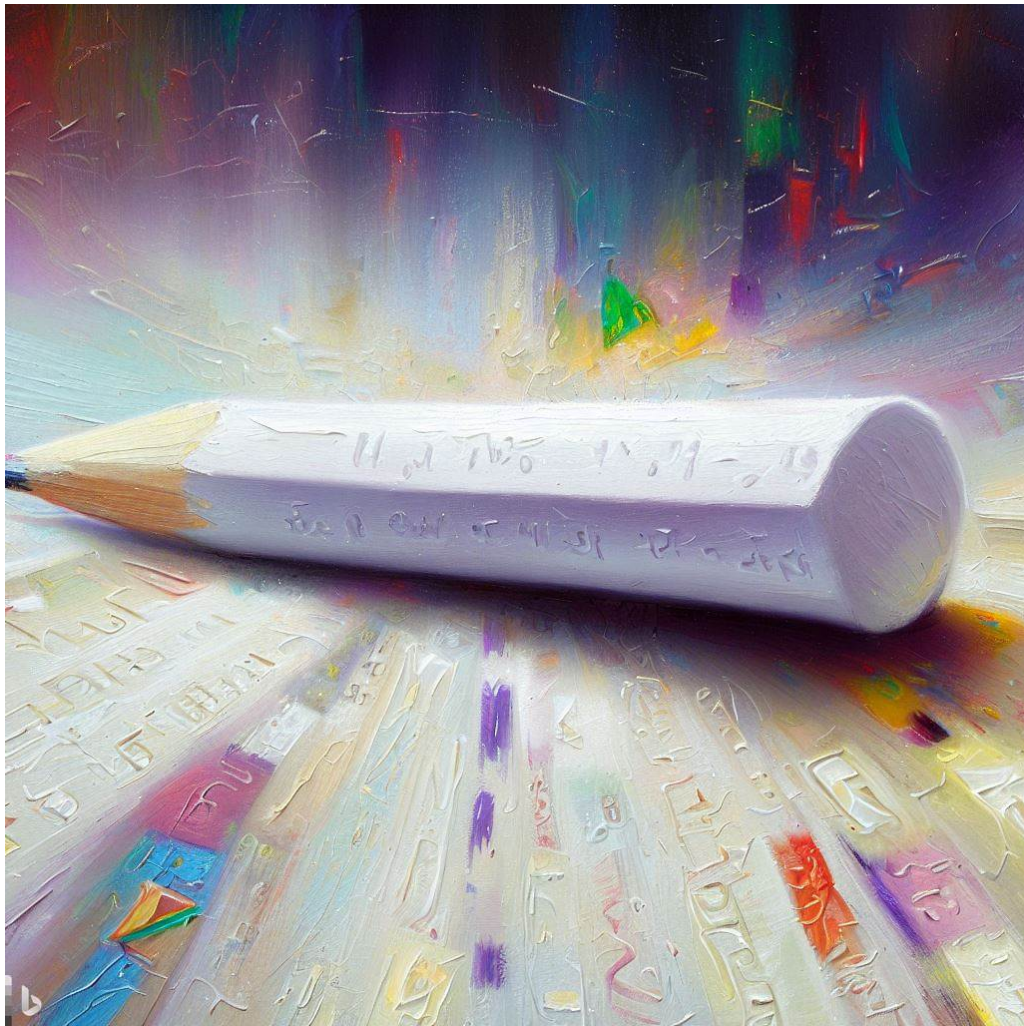
(Acryl painting) (Super Realism) A cute witch is riding on a pencil and flying above a jungle under the moon.



絵 8

プロンプト：

(油彩画) (シュールレアリスム) 「白鉛筆事件」は日本の小学校で起きたとても不思議な出来事です。白鉛筆というのは、消しゴムのように見えるけど、実は鉛筆の芯が入っている特殊な鉛筆です。この鉛筆を使って書くと、文字がほとんど見えません。だから、先生にバレないように、テストの答えを書いたり、友達にメモを送ったりするのに便利だと思った子どもたちがいました。しかし、その子どもたちは知らなかったのです。白鉛筆で書いた文字は、時間が経つとだんだん黒くなって見えるようになるということ。そうしたら、先生は白鉛筆で書かれたテストやメモを見つけて、子どもたちを叱りました。それが「白鉛筆事件」です。



後書き

A I 画集 0 1 1 (Pencil)

制作者：茜町春彦

ブラウザ：Edge

生成A I : Image Creator

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

ピクシブ カクヨム エブリスタ はてなブログ 楽天 Kobo 電子書籍ストア Face-
book ページ YouTube BOOTH

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2023年7月2日発行

A I 画集011 (Pencil)

著 茜町春彦

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
